

仏教保育専攻

特別な支援を要する子どもの理解と支援 I

担当教員	南川 聡美	単位	1単位	開講期間	秋学期
成績評価の基準	定期試験50%、レポート30%、平常点20%				
教科書	プリントを配布します				
参考文献	『幼稚園教育要領解説』(文部科学省、フレハール館)『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』(内閣府・文部科学省・厚生労働省、フレハール館)『保育所保育指針解説』(厚生労働省、フレハール館)				
授業方法	演習				

授業の概要・ねらい・到達目標・授業計画・注意事項など

(授業の概要)障害のある幼児などへの指導にあたっては、個々の発達や特性を理解し、個々に応じた対応や支援等が必要である。保育という生活の中で、子どもの個々の状態や発達に配慮しつつ、学びや生活を保障していくことを学ぶ。また、一人ひとりの子どもの障害の状態や発達の段階に応じた指導や支援について学ぶ。

(ねらい)

障害のある幼児などへの指導にあたっては、個々の発達や特性に配慮しつつ、生活に必要なスキルや適切な行動、学習を保障していくために、個別のニーズに対して、他の保育者や関係機関と連携等の知識や支援方法を理解する。

(到達目標)特別の支援を必要とする乳幼児に対して、その障害の特性と発達、支援や配慮の方法について理解する。

[授業計画]

1.	ICFとインクルージョンの基本理念
2.	「障がい」について
3.	障害児保育の基本
4.	神経発達障がいのある子どもの特性と発達①:知的発達障がいのある子ども
5.	神経発達障がいのある子どもの特性と発達②:自閉症スペクトラム障がいのある子ども
6.	神経発達障がいのある子どもの特性と発達③:AD/HDのある子ども
7.	神経発達障がいのある子どもの特性と発達④:コミュニケーション障がいのある子ども
8.	肢体不自由のある子どもの理解と援助
9.	視覚障害・聴覚障害のある子どもの理解と援助
10.	病弱等を含む様々な症状のある子どもの理解と援助
11.	特別な支援を必要とする子どもの理解と援助
12.	母国語や貧困の問題等により特別の支援が必要な子どもの理解
13.	家庭や関係機関との連携と協働
14.	障害児保育の実際
15.	まとめ

[備考・注意事項等]

備考:この科目は実務経験のある教員等による授業科目である。